

「問題発見と解決」で、あなただからこそできる、オリジナルな作品を作ろう！

ごく日常の業務でも、他の人が気づかない問題を発見し、解決策を与えられる能力が求められる時代を迎えています。経営工学専攻が提供するこの実習では、

- ・テーマは自由
- ・唯一の条件は、モデル化あるいは解決策の提示に工学的な手法を用いること

という前提のもと、自らら設定したテーマに対して、モデル化、ソリューションの導出、ソリューションの検討からなる一連のプロセスを経験し、ディスカッションとプレゼンテーションのトレーニングを行います。

参加者の投票で選ばれた筑波大学代表は、「4 大学交流発表会」で発表を行います

参加者は単に作品を作るだけではありません。作品の発表会では、自分以外の他のすべての作品にコメントし、さらに「これぞ筑波大学！」と思う代表者の投票を行います。

この結果選ばれた代表者は、慶応大学管理工学科、東京工業大学経営システム工学科、早稲田大学経営システム工学科、そして筑波大学社会工学類の 4 大学による、「4 大学交流発表会」で発表します。

2005 年度の発表会の様子は下記をご覧ください。

<http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~yoshise/4U-meeting2006>

それ以前の情報は、経営工学専攻の URL からご覧いただけます。

なお、「問題発見とモデル化」は、経営工学専攻で長年行ってきた、3rd Year Project の主旨を継続しながら、さらに単独の科目として 2006 年度より新設された実習です。

作品製作以外に、企業の方、卒業生をお招きしての事例講義、他大学の学生を迎えての交流授業なども予定しています。